

■学校支援地域本部事業とは

学校や子どもたちの学校生活を地域のボランティアがサポートする事業です。地域のボランティアのサポートにより、子どもたちの学校生活がより充実します。ボランティアをする人にとっても、社会で学んできたことを生かす機会にもなっています。

■事業を実施している学校

市内 24 校で事業を実施しています。効果的に事業が行われるよう、中学校区毎に「地域本部」という組織で活動しています。

●水沢中、水沢小、佐倉河小 ●東水沢中、常盤小、羽田小 ●水沢南中、水沢南小、真城小、姉体小、黒石小 ●江刺第一中、岩谷堂小、江刺愛宕小、田原小、大田代小、稲瀬小 ●前沢小、前沢中 ●胆沢中、胆沢第一小、南都田小、若柳小、胆沢愛宕小

■ボランティア活動の例

授業の補助（裁縫・調理実習・習字など）、校外活動

の見守り（まち探検・自転車教室など）、読み聞かせ、登下校の見守り、校内の装飾など
※学校によって内容は異なります。市ホームページでも活動の様子を紹介しています



家庭科の授業補助



図書のカバーかけ

ボランティアは随時募集しています。詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ

本庁生涯学習スポーツ課生涯学習係

（江刺総合支所・☎ 34-2497）



市ホームページ▲
（学校支援地域本部事業）

子どもも喜ぶ
人気メニュー

101

『手作りがんもどき』

レシピ紹介：梁川保育所 管理栄養士



栄養士から一言

今の時季のタマネギとニンジンが甘くてみずみずしいので、子どもでも食べやすくなります。5月になると旬の生ひじきがスーパーに出回ります。生ひじきを使う場合は大さじ2程度使用してください。

材料（4人分）

タマネギ……………1／4個
ニンジン……………1／5本
乾燥芽ひじき……………大さじ1
豆腐……………1／2丁
鶏ひき肉……………150g
干し桜エビ……………大さじ1
卵……………1／2個
片栗粉……………大さじ6
油……………適量
しょうゆ……………小さじ2
A 砂糖……………小さじ1
L みりん……………小さじ1
水……………小さじ2程度
※お好みで加減してください

作り方

- ①タマネギとニンジンのみじん切りにする。芽ひじきは戻しておく。
- ②ボウルに①と豆腐、鶏ひき肉、干し桜エビを加えよくこねる。
- ③②に溶き卵を加えて混ぜ、片栗粉を加えてさらによくこねる。
- ④食べやすい大きさに丸め、きつね色になるまで油で揚げます。
- ⑤鍋にAと水を加え、ひと煮立ちさせ、④をからめて出来上がり。

広 告

もっと安心 ずっとおうしゅう

～みんなの輪で支える在宅医療と介護～



第26回 地域医療における病院の役割を知ろう！ ～上手な病院のかかり方～／総合水沢病院医療連携室

病院はその役割によって、高度急性期、急性期、回復期、慢性期の四つの機能に分けられます。高度急性期病院は、症状の重い患者さんの状態の早期安定化に向けて、特に質の高い医療を提供する病院で、大学病院などがこれに当てはまります。急性期病院は、病気やけがによる症状が急激に現れる時期の患者さんに対し、状態が安定するように医療を提供する病院です。回復期病院は急性期の状態を脱して体の機能の回復を図る時期に、在宅復帰を目的とした医療やりハビリテーションを集中的に提供する病院であり、慢性期病院は症状が比較的安定して、長期的にわたり療養が必要な患者さんを治療する病院になります。

胆江医療圏では、状態に応じて急性期から慢性期までの治療が受けられ、患者さんが必要としている医療を提供できる体制を関係機関が協力しながら作っています。病状が安定すると医療機関から退院や転院をすすめられるのは、患者さんを受け入れられる体制を維持するために、病院の機能として大切な取り組みなのです。また、専門的な検査や治療が必要な場合は、かかりつけ医から専門的な治療が可能な病院への紹介により治療を行います。普段からかかりつけ医を持ち、相談できる関係性をつくっておくことが大切であり、このような仕組みが整うことが患者さんや地域医療を守ることにつながります。

■問い合わせ＝本庁地域医療介護推進室（☎ 34-2906） ■高齢者に関する相談＝市地域包括支援センター（☎ 34-2199）

はい、こちら

総合相談室

（☎ 34-2915、FAX 24-1991）

消費生活相談	前沢総合支所 市民福祉グループ 毎週	10:00～15:00
本庁市民課総合相談室 月～金 9:00～17:00 (受付16:00まで)	胆沢総合支所 市民生活グループ 毎週	※前日までに要予約
江刺総合支所 市民生活グループ 毎週 10:00～15:00 前日までに要予約	衣川総合支所 市民福祉グループ 毎週	

新型コロナウイルスに便乗した詐欺に注意！



Q. 昨日、市から委託されている業者と名乗る電話がありました。「給付金の申請が始まったが、申請するのが大変な場合は、申請を代行するので手数料を振り込んでほしい。申請を急ぐ場合は訪問するので、通帳と印鑑を用意してほしい」と言われましたが、信用できますか？

A. 今回のように手数料と称してお金をだまし取る手口他、さまざまな新型コロナウイルスに便乗した詐欺・悪質商法が全国で発生しています。具体的には、「コロナウイルスに効く薬を購入しないか」「感染を防ぐために、行政からの委託で消毒に回っている」「コロナウイルスの予防接種が実施されるので、家族構成を教えて

ほしい」といった不審電話や、厚生労働省からのLINEアンケートに便乗してクレジットカードの番号を聞き出そうとするものもあったようです。聞き出した口座番号やカード番号は悪用される恐れがあります。家族構成を聞き出すのは、詐欺的行為に利用することが目的と考えられます。また、今不足しているマスクに関連して、「インターネットでマスクを注文したが届かない」「マスクを勝手に送り付けて代金を請求する」といった事例もあります。

社会の混乱に便乗する悪質な手口に気を付け、正確な情報の下に冷静に行動しましょう。



広 告